

2025

AO マルデス入試要項

一般受験

帰国生特別受験

社会人特別受験

外国人特別受験

経済学部

経営学部

法学部

文学部

理工学部



目次

入試概要

- 1 基本コンセプト
- 1 スケジュール

入試要項

- 2 アドミッションポリシー
- 2 募集人員
- 2 出願資格
- 5 提出書類
- 8 出願方法
- 11 受験票
- 12 審査日程および合格者発表
- 12 審査内容
- 12 注意事項
- 13 入学手続方法

審査内容

- 14 経済学部
- 17 経営学部
- 20 法学部
- 23 文学部
- 26 理工学部

その他

- 29 入学準備プログラム
- 30 入試結果

入試概要

少人数教育の理想を叶えるために、豊かな個性と広い視野、 オリジナリティを備えた人材を求めます。

成蹊大学では、創立以来大切にしている少人数教育を通じて、学生一人ひとりの個性と自由を尊重し、人間味にあふれる知性を育てたいと考えています。この理想をさらに追求し、一般入試でははかりきれない能力や資質を評価するためにAOマルデス入試を行い、これからの時代に対応しうる多様な個性と新しい力を求めます。

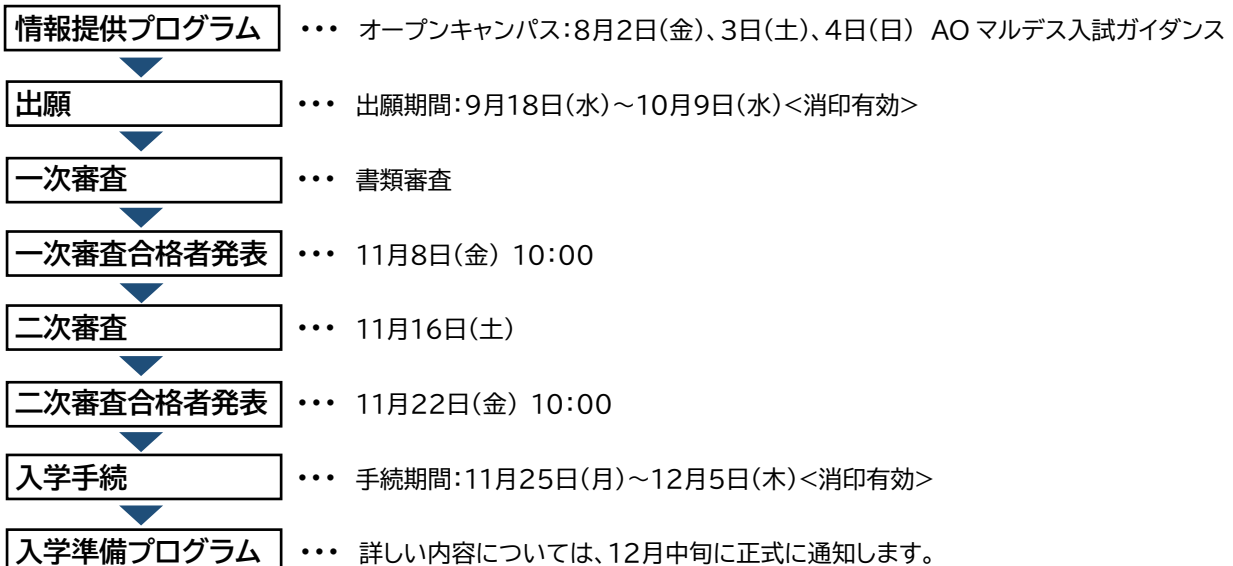
『マルデス』 とは

『マルデス』は「The Multi Dimensional Entrance Examination for Seikei University」からとったものです。従来の入試とは異なり、一人ひとりの受験生の「顔が見える入試」をめざしています。

基本コンセプト

- 自分の将来を見つめる入試 —入試で夢を語って熱くなれる—
志望理由書や自己表現力審査などで、これまで活動してきたことや将来の夢、やってみたいことを思いきり表現できます。
- 多面的な尺度による評価システム —「求める学生像」に基づく審査—
教科重視の入試でははかることのできないさまざまな個人の能力を、総合的に審査する入試システムです。
- 多様なアクセスが可能 —バラエティ豊かな受験枠—
帰国生、社会人、外国人などの特別受験制度があります。また、一般受験でも現役生・既卒生の区別はありません。
- 総合的なアドミッションプログラム —8月から3月まで一貫したケア—
オープンキャンパスでの情報提供から入学準備まで、一貫したプログラムが組まれています。

スケジュール



入試要項

1. アドミッションポリシー

アドミッションポリシーについては、本学入試情報サイト S-NET(<https://www.seikei.ac.jp/university/s-net/>)から確認してください。

2. 募集人員

	経済学部		経営学部		法学部		文学部		理工学部	
一般受験	経済数理 学科	4名	総合経営 学科	20名	法律学科	6名	英語英米文学科	5名	理工学科	10名
	現代経済 学科	8名			政治学科	4名	日本文学科	3名		
							国際文化学科	6名		
							現代社会学科	3名		
帰国生特別受験	各学科:若干名(一般受験の定員に含まれる)									
社会人特別受験										
外国人特別受験										

※ 上記の募集人員には現地選抜型外国人特別入試の募集人員(若干名)が含まれます。

※ 理工学部において、出願時は「理工学科」を志望学科とした出願となりますが、入学する専攻は入学手続の際に選択できます。

3. 出願資格

「全員共通」(2ページ)、「出願区分別」(3ページ)、「学部別」(4ページ)に定める要件を満たしていること。現役、既卒の区別は一切ありません。なお、AO マルデス入試においては、1学科のみ出願可能です。

【注意】出願資格に該当しない者で、入学を希望する者は、「成蹊大学入学試験受験資格審査実施要項」に基づき、出願資格の有無について事前(出願前)に審査を行います。必ず本学アドミッションセンターまで連絡のうえ、9月11日(水)までに指定された書類を提出してください(必着)。

全員共通

以下の条件のすべてを満たす者。

- 成蹊大学の各学部で学修することを強く志望し、合格した場合は、必ず本学に入学する者。
- 自分の将来に明確な目標を持ち、それに向かって努力していること。
- 成蹊大学の志望する学部が自分の将来の目標の実現に役立つものであること。
- 2025年3月31日までに、18歳に達する者(社会人特別受験については、21歳に達する者)。

入試要項

出願区分別	
一般受験	<p>以下の条件のいずれかを満たす者。(以下、「高等学校」には中等教育学校を含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 高等学校を卒業した者、および2025年3月卒業見込みの者。 ■ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者、および2025年3月修了見込みの者。 ■ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、および2025年3月31日までにこれに該当する見込みの者。
帰国生特別受験	<p>以下の a、b、c のいずれかを満たし、さらに①、②のいずれかを満たす者。</p> <p>a. 日本国籍を有する者</p> <p>b. 「出入国管理及び難民認定法」による「永住者」</p> <p>c. 「日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国に関する特例法」による「特別永住者」</p> <p>① 2023年4月1日から2025年3月31日までの間に外国において学校教育における12年の課程を修了した、もしくは修了する見込みのある者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。ただし、修了または修了見込みの時点にいたるまでの2学年度に相当する期間以上を継続して、外国の学校教育における12年の課程に在籍していることが必要。</p> <p>② 外国の学校教育における12年の課程に継続して2学年度に相当する期間以上在籍し、かつ、その直後に日本の高等学校の第2学年の9月以降に編入学し、2025年3月に卒業見込みの者。帰国後、日本国内の学校教育法に準拠しない学校に編入学した場合は、この期間を外国の教育課程における期間と合算することを認める場合がある。</p> <p>(注) 日本にある外国人学校(インターナショナルスクールを含む)および外国にある日本の学校教育法に準拠する学校は「外国」と認めない。</p>
社会人特別受験	<p>以下の a、b をともに満たし、さらに①～③のいずれかを満たす者。</p> <p>a. 2025年3月31日までに、21歳に達する者。</p> <p>b. 職業経験が1年以上あること(家事従事者を含む)。</p> <p>① 高等学校を卒業した者、および2025年3月卒業見込みの者。</p> <p>② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者、および2025年3月修了見込みの者。</p> <p>③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、および2025年3月31日までにこれに該当する見込みの者。</p>
外国人特別受験	<p>以下の条件をすべて満たす者。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 出願時において日本国籍を有しない者。 ■ 勉学を目的として日本に在留することができる者。 ■ 国の内外を問わず、学校教育における12年の課程を修了した者(修了見込みの者を含む)、または本学が高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者。 ■ 外国の学校教育における12年の課程に、9学年度に相当する期間以上在籍した(している)者。 <p>(注) 日本にある外国人学校(インターナショナルスクールを含む)および外国にある日本の学校教育法に準拠する学校は「外国」と認めない。</p>

入試要項

学部別							
経済学部	<p>経済数理学科に出願する場合は、以下の要件を満たすこと。</p> <p>■ 高等学校において「数学Ⅰ」「数学A」「数学Ⅱ」「数学B」をすべて履修し、数学の合計修得単位数が13単位以上であること。</p> <p>※ 「高等学校卒業程度認定試験」または「大学入学資格検定」合格者、帰国生・社会人・外国人特別受験生は、経済数理学科出願資格に相当する科目を修得しているか判定しますので、<u>9月11日(水)までに必ず</u>本学アドミッションセンターまで連絡のうえ、必要な書類を提出してください。</p> <p><u>現代経済学科では必要とする要件はありません。</u></p>						
文学部	<p>■ 次表の検定試験等の成績を収めていること(団体特別受験制度の TOEFL ITP®および TOEIC® IP による成績は出願資格としては認めない。また、TOEFL iBT®および日本留学試験は2024年9月18日時点で有効期限内にあるスコアのみ認める)。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">対象</th> <th style="text-align: center;">検定試験等の成績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">一般受験 帰国生特別受験 社会人特別受験</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・実用英語技能検定2級以上 ・TOEFL iBT® 52点以上 ・TOEIC® L&R 560点以上 ・日本漢字能力検定2級以上<日本文学科のみ認める> のいずれか </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">外国人特別受験</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・実用英語技能検定2級以上 ・TOEFL iBT® 52点以上 ・TOEIC® L&R 560点以上 ・日本漢字能力検定2級以上<日本文学科のみ認める> ・日本語能力試験 N1レベル(旧日本語能力試験1級) ・日本留学試験日本語科目(記述を除く)280点以上 のいずれか </td> </tr> </tbody> </table>	対象	検定試験等の成績	一般受験 帰国生特別受験 社会人特別受験	<ul style="list-style-type: none"> ・実用英語技能検定2級以上 ・TOEFL iBT® 52点以上 ・TOEIC® L&R 560点以上 ・日本漢字能力検定2級以上<日本文学科のみ認める> のいずれか 	外国人特別受験	<ul style="list-style-type: none"> ・実用英語技能検定2級以上 ・TOEFL iBT® 52点以上 ・TOEIC® L&R 560点以上 ・日本漢字能力検定2級以上<日本文学科のみ認める> ・日本語能力試験 N1レベル(旧日本語能力試験1級) ・日本留学試験日本語科目(記述を除く)280点以上 のいずれか
対象	検定試験等の成績						
一般受験 帰国生特別受験 社会人特別受験	<ul style="list-style-type: none"> ・実用英語技能検定2級以上 ・TOEFL iBT® 52点以上 ・TOEIC® L&R 560点以上 ・日本漢字能力検定2級以上<日本文学科のみ認める> のいずれか 						
外国人特別受験	<ul style="list-style-type: none"> ・実用英語技能検定2級以上 ・TOEFL iBT® 52点以上 ・TOEIC® L&R 560点以上 ・日本漢字能力検定2級以上<日本文学科のみ認める> ・日本語能力試験 N1レベル(旧日本語能力試験1級) ・日本留学試験日本語科目(記述を除く)280点以上 のいずれか 						
理工学部	<p>■ 高等学校において数学の合計修得単位数が14単位以上(旧教育課程履修者は13単位以上)であり、かつ理科の合計修得単位数が10単位以上であること。</p> <p>※ 「高等学校卒業程度認定試験」または「大学入学資格検定」合格者、帰国生・社会人・外国人特別受験生は、理工学部出願資格に相当する科目を修得しているか判定しますので、<u>9月11日(水)までに必ず</u>本学アドミッションセンターまで連絡のうえ、必要な書類を提出してください。また、高等学校の工業に関する学科、総合学科、または工業高等学校を卒業した者、あるいは卒業見込みの者で、必要単位数を満たせないときは、工業または情報に関する教科・科目で振り替えできる場合がありますので、<u>9月11日(水)までに必ず</u>本学アドミッションセンターまで連絡してください。</p>						

※ 経営学部、法学部では必要とする「学部別」の要件はありません。

4. 提出書類（志望する出願区分と学部の書類を合わせて提出してください）

- 【重要】・ 証明書類等の提出書類は特に指定がない限り、原本のみを有効とし、返却はいたしません。
- ・ 書類の記入部分は手書きのみ認めます。黒のボールペンで記入してください。
 - ・ 本学所定の書類は全て A4サイズ・片面で印刷してください。
 - ・ 調査書等は封書に厳封された状態で提出してください。開封されたものは無効とします。出身学校の保存年限の終了、あるいは、出身学校の統廃合や被災等の事由で調査書が交付されない場合には、卒業証明書を提出してください。改姓等の理由により、調査書等記載の氏名と志願書の表記が異なる場合は、変更内容が確認できる公的書類(戸籍抄本等)を添付してください。
 - ・ 外国の学校が発行する証明書または出身国等の大学入学資格・統一試験等の成績証明書を提出する場合は、いずれも和文または英文の原本、あるいは大使館で証明済みの日本語訳または英語訳(中国国籍の方は、中国国内の公証処等にて公証・認証された書類)を添付してください。
 - ・ 電子媒体(USB メモリ、CD 等)の提出は不可とします。

出願区分別	
一般受験	<p>いずれか</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 出身高等学校の調査書(厳封された状態で提出) 2期制の高等学校で、出願期間内に3年次前期の成績が確定していない場合は、2年次末までの成績で審査をします。出願の際、調査書の備考欄に、出願期間内に3年次前期までの成績を確定することができない旨を明記し、3年次前期に履修中の科目に「*」等の印を付けて提出してください。なお、「修得単位数の計」欄には、最終学年の履修単位を含めた単位数の計を記入してください。 ■ 「高等学校卒業程度認定試験」合格者は合格成績証明書、合格見込者は合格見込成績証明書 免除科目、免除見込科目がある場合は、履修した高等学校で発行する「成績証明書」(検定試験の級取得による免除の場合はその検定試験の「合格証明書」)を提出してください。 ■ 「大学入学資格検定」合格成績証明書
帰国生特別受験	<ul style="list-style-type: none"> ■ 卒業(見込)証明書あるいは修了(見込)証明書 学校教育における12年の課程を修了、もしくは修了する見込みのあることを証明する書面(Diploma でも可)。日本の高等学校に編入学した場合は、日本の高等学校の調査書を提出してください。 ■ 成績証明書 外国で在籍している(いた)学校の成績証明書(2学年度に相当する期間以上が必要)。日本の高等学校から外国の学校に編入学した場合は、日本の高等学校在籍中の成績証明書も合わせて提出してください。 ■ 海外在留証明書 在外日本国大使館または保護者の勤務先が発行する証明書(本人が2学年度に相当する期間以上外国に滞在していたことを証明する書面。出身学校が発行する証明書は不可)。日本人出帰国記録調査書(出入国在留管理庁が発行する出入国記録証明書。外国の学校の在籍期間中全ての出入国記録が記載されているもの)でも可。 ■ 履歴書(本学所定)

入試要項

出願区分別	
社会人特別受験	<p>い ず れ か</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 出身高等学校の調査書(厳封された状態で提出) ■ 「高等学校卒業程度認定試験」合格者は合格成績証明書、合格見込者は合格見込成績証明書 免除科目、免除見込科目がある場合は、履修した高等学校で発行する「成績証明書」(検定試験の級取得による免除の場合はその検定試験の「合格証明書」)を提出してください。 ■ 「大学入学資格検定」合格成績証明書 ■ 履歴書(本学所定) 職業経験を証明する書類は必要ありません。履歴書による自己申告です。
外国人特別受験	<ul style="list-style-type: none"> ■ 卒業(見込)証明書あるいは修了(見込)証明書 学校教育における12年の課程を修了、もしくは修了する見込みのあることを証明する書面(Diplomaでも可)。日本の高等学校を卒業した者、および2025年3月卒業見込みの者は、日本の高等学校の調査書を提出してください。 ■ 成績証明書 外国で在籍している(いた)学校の成績証明書(9学年度に相当する期間以上が必要)。日本の高等学校から外国の学校に編入学した場合は、日本の高等学校在籍中の成績証明書も合わせて提出してください。 ■ 履歴書・経費負担計画書(本学所定) ■ 住民票の写し 必ず「国籍・地域」を明示してください。受験用の短期滞在査証の者はパスポートの該当ページのコピーを提出してください。

※ 「学部別」の提出書類は次ページ(7ページ)を確認してください。

入試要項

学部別	
経済学部	<ul style="list-style-type: none"> ■ 志願書(本学所定) ■ 志望理由書(本学所定) ■ 活動報告書(本学所定) ■ 課題レポート(本学所定) ■ 学術・芸術・スポーツ等の課外活動、生徒会活動、地域活動、ボランティア活動の成果等を証明する資料(コピー可) ■ 次の検定・資格試験等の合格実績やスコアがある者はそれを証明する書類(コピー可) 実用英語技能検定、TOEFL、TOEIC、IELTS、国際連合公用語英語検定試験、GTEC、TEAP、ケンブリッジ英語検定、実用数学技能検定、統計検定、その他の検定・資格試験等。
経営学部	<ul style="list-style-type: none"> ■ 志願書(本学所定) ■ 志望理由書(本学所定) ■ 活動報告書(本学所定) ■ 課題レポート(本学所定) ■ 学術・芸術・スポーツ等の課外活動、生徒会活動、地域活動、ボランティア活動の成果等を証明する資料(コピー可) ■ 次の検定・資格試験等の合格実績やスコアがある者はそれを証明する書類(コピー可) 実用英語技能検定、TOEFL、TOEIC、IELTS、国際連合公用語英語検定試験、GTEC、TEAP、日商ビジネス英語検定、全商英語検定、日本漢字能力検定、実用数学技能検定、IT パスポート試験、情報検定、歴史能力検定、日商簿記検定、その他の検定・資格試験等。
法学部	<ul style="list-style-type: none"> ■ 志願書(本学所定) ■ 志望理由書(本学所定) ■ 活動報告書(本学所定) ■ 学修計画レポート 志望学科の専門領域に関連した具体的なテーマを設定し、自分で調べた内容や大学でより深く考察したい重要問題などをまとめた「学修計画レポート」を提出してください。ゼミにおいて教員と他の学生にわかりやすく伝えることをイメージしながら、参考書籍なども明記して、A4用紙2ページ以内で丁寧に論じてください。形式は問いません。 ■ 語学試験の合格証や成績証明書を取得している者はその証明書(コピー可) (この他に自分の活動歴を示す資料(コピー可)を自由に提出してもよい)
文学部	<ul style="list-style-type: none"> ■ 志願書(本学所定) ■ 志望理由書(本学所定) ■ 活動報告書(本学所定) ■ 志望学科に関するレポート(本学所定) ■ 志望学科が定める出願資格を証明する下記の書類のいずれか(複数提出してもよい) <ul style="list-style-type: none"> ● 実用英語技能検定「合格証明書」(原本、和文でも英文でも可) ● TOEFL iBT®「Test Taker Score Report」(原本) ● TOEIC® L&R「Official Score Certificate」(原本) ● 日本語能力試験「認定結果及び成績に関する証明書」(原本) ● 日本留学試験日本語科目「日本留学試験成績証明書」のコピー ● 日本漢字能力検定「合格証明書」(原本) ※ Certified True Copy(出身学校等により原本から正しく複製されたものであることの証明を受けた書類)でも可。
理工学部	<ul style="list-style-type: none"> ■ 志願書(本学所定) ■ 志望理由書(本学所定) ■ 活動報告書(本学所定) ■ 英語検定試験等の証明書、科学に係るコンクール等の参加・入賞を示す資料など(自由提出・コピー可)

5. 出願方法

出願期間 : 9月18日(水)～10月9日(水)〈消印有効〉 ※ 海外から郵送する場合は出願締切日必着
入学検定料 : 35,000 円 (納入方法の詳細は10ページ参照)

STEP1 事前準備

■ 証明写真

縦4cm×横3cm の証明写真(出願前3ヶ月以内に撮影した正面・上半身・無帽・無背景のカラーあるいは白黒写真)。

家庭等で個人が撮影した写真は使用できません(スマートフォン等での自撮り写真も不可)。志願書の写真は、本人確認を行う際に使用します。また、入学が許可された場合の学生証等の写真として卒業まで使用しますので、制服での撮影はさけてください。なお、志願書の写真による本人確認が困難な場合には、別の方法による本人確認を依頼することがあります。

■ 志望する出願区分と学部の提出書類(志願書を除く)

■ 封筒(角2サイズ)

STEP2 Web 出願サイトにアクセス

Web 出願サイト(<https://e-apply.jp/ds/seikei/>)にアクセスしてください。Web 出願サイトは9月上旬公開予定です。

動作推奨環境

ブラウザ : Firefox、Safari、Google Chrome、Microsoft Edge の最新版

PDF ソフト : Acrobat Reader 最新版 (無料でダウンロード可)

プリンター : A4普通紙を印刷できるもの

※ スマートフォンやタブレットなどのモバイル端末からも出願登録可能です。

ただし、一部の端末画面からは正常に表示されない場合もあります。

STEP3 マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。

- ① 初めて登録する方は **マイページ登録** からログインしてください。
- ② メールアドレスの登録を行って **仮登録メールを送信** をクリックしてください。
- ③ ユーザー登録画面から **ログインページへ** をクリックしてください。
- ④ 登録したメールアドレスに初期パスワードと本登録用 URL が届きます。
- ⑤ ログイン画面から、登録したメールアドレスと④で届いた『初期パスワード』にてログインしてください。
- ⑥ 初期パスワードの変更を行ってください。
- ⑦ 個人情報を入力して **次へ** をクリックしてください。
- ⑧ 個人情報を確認して **この内容で登録する** をクリックしてください。
- ⑨ 登録完了となります。 **マイページへ** をクリックしてください。
- ⑩ 出願期間中の場合のみ **出願手続きを行う** をクリックすると出願手続きに進めます。出願期間外の場合は、これより先に進めませんので **ログアウト** をクリックしてください。

入試要項

STEP4 出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。

- ① マイページログイン後の「出願手続きを行う」ボタンから登録画面へ。
- ② 入試方式と留意事項を確認して「次へ」をクリックしてください。
- ③ 出願区分、志望学科などを選択して「次へ」をクリックしてください。
- ④ 個人情報(氏名・住所等)を入力して「次へ」をクリックしてください。

氏名や住所等を入力する際に、異体字等の漢字が登録エラーになる場合は、代替の漢字(入力できなければカナ)を入力してください。また、氏名のアルファベット入力は不可となります。外国人の方は、氏名(漢字)部分もカナで入力してください。住所は合格証等の送付先になります。書類を受領できる住所を登録してください。登録できる住所は、日本国内に限ります。

- ⑤ 出願内容を確認して「この内容で登録する」をクリックしてください。
- ⑥ 申込登録完了です。「引き続き支払う」をクリックし検定料のお支払い画面へ。

STEP5 入学検定料のお支払い

お支払方法を選択して、お支払いをしてください。詳細は10ページを参照してください。

出願登録・入学検定料のお支払いをただけでは、出願完了となりません。

STEP6 印刷

マイページに表示された「Web 志願書(印刷)」をクリックし、プリンターにて、以下の PDF ファイルを印刷してください。

お支払いが正常に完了するとクリックできるようになり、印刷できます。

■ 志願書 ■ 宛先シート ■ 注意文

印刷用紙は A4サイズ・片面で印刷してください。カラー、白黒どちらで印刷しても構いません。

STEP7 貼付

印刷した志願書の所定の位置に証明写真を貼り付けてください。

準備した封筒(角2サイズ)に宛先シートを貼り付けてください。

STEP8 郵送

封筒(角2サイズ)に全ての出願書類を入れ、「簡易書留・速達郵便」で出願締切日(消印有効)までに郵送してください。

提出書類のサイズが大きい場合は、書類を折りたたんで入れてください(角2サイズ以外の封筒での出願は不可)。

STEP9 出願完了

出願書類が本学に届き、受理(不備がなく正式に受付)出来次第、出願完了となります。本学から出願完了のお知らせはいたしません。簡易書留の郵便追跡サービスをご利用ください。出願書類に不備があった場合は、出願時に登録された電話番号に連絡します。

入試要項

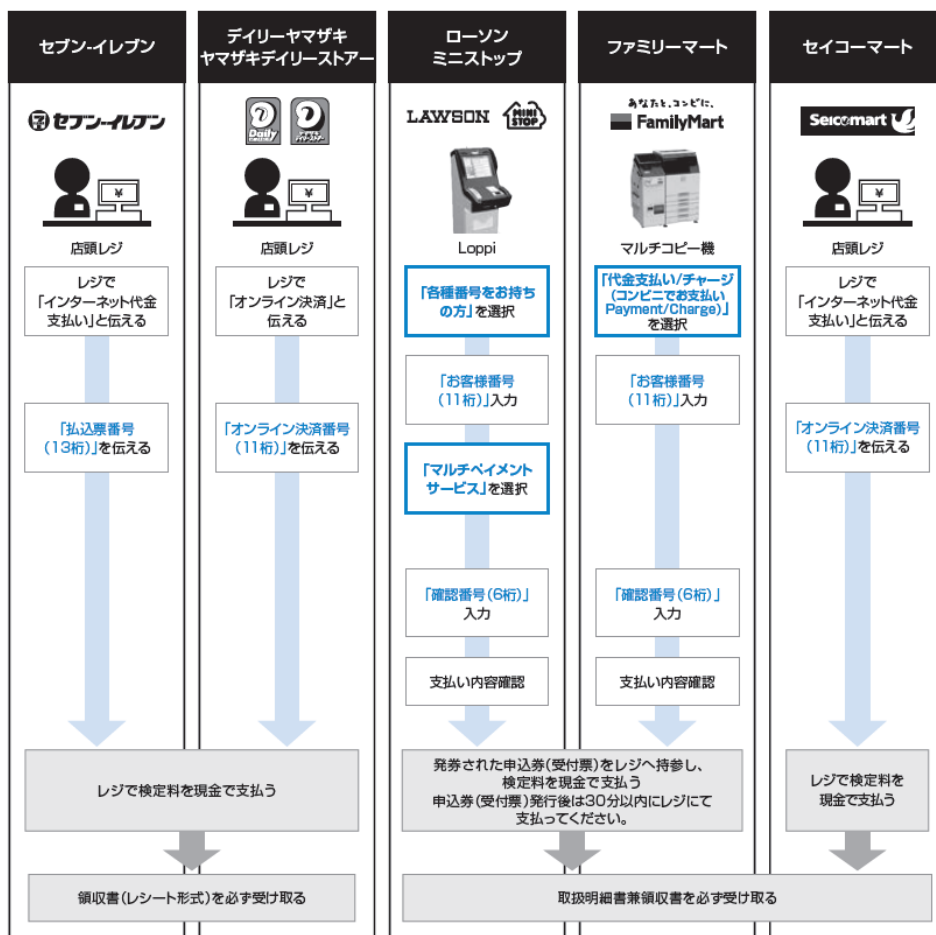
入学検定料のお支払い

コンビニエンスストア、もしくはクレジットカードでのお支払いができます。

コンビニエンスストアでのお支払い(利用可能なコンビニエンスストアは変更になる場合があります。)

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート	お客様番号 (11桁) <input type="text"/>
LAWSON MINI STOP <small>あなとも、コンビニに、</small> FamilyMart	確認番号 (6桁) <input type="text"/>

セブン-イレブン (※支払票を印刷するとスムーズにお支払いができます。)	デイリーヤマザキ、ヤマザキデイリーストア、セイコーマート
セブン-イレブン	Daily ヤマザキ Seicomart
払込票番号 (13桁) <input type="text"/>	オンライン決済 番号 (11桁) <input type="text"/>



- ※ お支払い済みの入学検定料はコンビニエンスストアでは返金できません。
- ※ すべての支払方法に対し、入学検定料の他に、払込手数料(1,250円(税込))が別途かかります。

クレジットカードでのお支払い



- ※ 入学検定料の他に、払込手数料(1,250円(税込))が必要です。
- ※ お支払いされるカードの名義人は受験生本人でなくても構いません。

入試要項

出願内容等の変更について

出願(書類郵送)後の出願情報(出願区分、志望学科)の変更および提出書類の差し替えは、いかなる理由があっても認めません。出願(書類郵送)前の出願情報、ならびに個人情報(氏名、住所等)の修正をご希望の場合は、本学アドミッションセンターに連絡してください。

入学検定料の返還について

出願を受理した後は、原則として払込済の入学検定料は返還しません。ただし、入学検定料の支払い後、出願を取りやめた場合、または重複して支払いをした場合は返還請求ができます。本学アドミッションセンターまで連絡のうえ、入学検定料返還申請書(本学所定)に必要事項を記入し提出してください。返還請求の締切は2024年10月25日(金)必着です。入学検定料返還申請書の書式は、本学入試情報サイトS-NET(<https://www.seikei.ac.jp/university/s-net/>)よりダウンロードしてください。なお、返還額は返還にかかる振込手数料を差し引いた額になります。

6. 受験票

受験票は、Web出願サイトのマイページにログインして、ダウンロード・印刷してください。受験票印刷後、受験票に記載されている内容が登録したものと異なっている場合には、ただちに本学アドミッションセンターに連絡してください。

STEP1 Web 出願サイトにアクセス

Web 出願サイト(<https://e-apply.jp/ds/seikei/>)にアクセスしてください。Web 出願サイトは9月上旬公開予定です。

動作推奨環境

ブラウザ : Firefox、Safari、Google Chrome、Microsoft Edge の最新版

PDF ソフト : Acrobat Reader 最新版 (無料でダウンロード可)

プリンター : A4 普通紙を印刷できるもの

※ スマートフォンやタブレットなどのモバイル端末からも出願登録可能です。

ただし、一部の端末画面からは正常に表示されない場合もあります。

STEP2 マイページにログイン

メールアドレスとパスワードを入力し、マイページにログインしてください。

STEP3 受験票をダウンロード・印刷する

受験票 をクリックして、受験票を確認、印刷してください。

ダウンロード・印刷開始日 : 10月25日(金) 10:00

- ・ 受験票は、A4サイズの紙に印刷してください。スマートフォンやタブレットなどの画面に表示した受験票は認めません。
- ・ 受験票は、二次審査当日に試験会場で提示が求められます。受験に際しては、受験票を必ず携帯してください。
- ・ 受験票の印刷は、カラー・白黒どちらで印刷しても構いません。ただし、「実際のサイズ」で印刷してください。
- ・ 受験票を紛失した場合は、再度Web出願サイトからダウンロード・印刷することができます。

7. 審査日程および合格者発表

一次審査：書類審査 一次審査合格者発表：11月8日(金)10:00

受験票はWeb出願サイトのマイページからダウンロード・印刷してください。詳細は11ページを参照してください。

一次審査合格者発表は、本学入試情報サイト S-NET(<https://www.seikei.ac.jp/university/s-net/>)にて行います。

二次審査：11月16日(土) 二次審査合格者発表：11月22日(金)10:00

可否判定は、一次審査、および二次審査を総合的に組み合わせて行います。

二次審査合格者には「合格証」を発送します(日本国内の住所に限ります)。

二次審査合格者発表は、本学入試情報サイト S-NET(<https://www.seikei.ac.jp/university/s-net/>)にて行います。

8. 審査内容

各審査の詳細については、学部ページをご確認ください。

経済学部：14～16ページ

経営学部：17～19ページ

法学部：20～22ページ

文学部：23～25ページ

理工学部：26～28ページ

9. 注意事項

学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項

入学試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症(インフルエンザ、新型コロナウイルス、麻疹、水疱瘡等)に罹患している場合は、他の受験生や監督者等への感染のおそれがあるため受験はできません。ただし、症状により学校医、その他の医師において伝染のおそれがないと認められた場合は、この限りではありません。なお、上記により受験ができない場合であっても、入学検定料は返還しません。試験当日の体調管理は十分に注意してください。

受験上および修学上の配慮を要する方へ

病気、負傷、身体に障がいがある等の理由により、受験上の配慮を必要とする可能性がある場合は、出願に先立ち、9月11日(水)までに、本学アドミッションセンターに連絡してください。また、障がい等の状況により、修学上の配慮を必要とする可能性がある場合も、あわせてお問い合わせください。出願は、本学から検討結果をお知らせするまでお待ちください。

10. 入学手続方法

入学手続期間：11月25日(月)～12月5日(木)〈消印有効〉

入学手続方法：入学希望者は納付金を全納したのち、必要書類を取り揃えて、上記期間内に「簡易書留郵便」で本学アドミッションセンター宛に郵送してください。入学手続の詳細は、合格者に別途お知らせします。

学部	項目	第1年度納付金		第2年度以降納付金(年額)		
		入学手続時	10月上旬	第2年度	第3年度	第4年度
経済学部 経営学部 法学部 文学部	入学金	200,000円	—	—	—	—
	授業料	427,500円	427,500円	855,000円	855,000円	855,000円
	施設費	105,000円	105,000円	210,000円	210,000円	210,000円
	設備費	45,000円	45,000円	90,000円	90,000円	90,000円
	合計	777,500円	577,500円	1,155,000円	1,155,000円	1,155,000円
理工学部	入学金	200,000円	—	—	—	—
	授業料	540,000円	540,000円	1,080,000円	1,080,000円	1,080,000円
	施設費	182,500円	182,500円	365,000円	365,000円	365,000円
	設備費	77,500円	77,500円	155,000円	155,000円	155,000円
	合計	1,000,000円	800,000円	1,600,000円	1,600,000円	1,600,000円

※ 第2年度以降の納付金は、変更することがあります。

※ 外国人留学生に対する授業料等減免制度については本学国際教育センター(0422-37-3536)までお問い合わせください。

上記のほか次のことをお願いしております。

- ① 本学では、「成蹊学園教育充実資金」[1口10万円として2口(理工学部は3口)以上]のご協力をお願いしております。この寄付金は任意のものですが、教育内容の充実改善や教育施設設備の整備拡充等をより一層推進するための資金として有効に活用させていただいているものです。入学後にあらためてご案内を申し上げますので、なにとぞご理解を賜り、ご協力の程お願い申し上げます。
- ② 成蹊大学生は卒業と同時に一般社団法人成蹊会(成蹊学園創立以来の卒業生で組織された同窓会)の会員となっております。皆様には入学年度後期の学費納入時に、入会金 36,600 円の納入をお願いしております(成蹊高等学校卒業生で既に入会金、会費を納入いただいている方は対象となりません)。入学手続時にあらためてご案内いたしますのでよろしくお願いいたします。

ノートパソコン必携のお知らせ

本学では従来、多様な教育プログラムの提供と在学中の ICT スキルの獲得のため、全キャンパスの ICT 化を推進しております。具体的には、全ての教室及び多くの共用スペースに無線 LAN を配備し、授業をはじめとして、グループワークや論文作成などにおいて、ICT を活用した教育活動を行っています。つきましては、本学の教育方針をご理解いただき、1年次前期のパソコンを使用する授業に持参できるよう、ノートパソコンのご準備をお願いいたします。

【参考】

2024年度入学生用案内(<https://www.seikei.ac.jp/university/sched/assets/pdf/pc-hikkei2024.pdf>)

経済学部が求める学生像

経済学とは、持続可能な社会の発展をめざし、社会における経済活動の在り方を研究する学問です。社会を豊かにするために経済の効率性をどのように高めることができるか。豊かさを公平に分ち合いつつ次世代に受け継いでいくためにはどうしたら良いのか。経済学の目的は、このような人類にとっての普遍的な問題を解決しようとすることです。

成蹊大学経済学部は、学生・教員のお互いの顔がみえる少人数教育の下で、経済学を基礎から応用までしっかり学び、経済現象の解明や社会問題の解決に向けて正面から取り組みたい学生を求めます。

経済数理学科が特に求める人物像は……

ものごとを論理的に考えたい人、データの中から真実を見つけたい人、他者へものごとを論理的に説明したい人。

現代経済学科が特に求める人物像は……

ものごとを実体験を通して理解したい人、他者と協力しながら共に目的を達成したい人。

経済学部求められる資質
(=AO入試での審査)

- ① 経済現象の解明と社会問題の解決に対する強い関心
- ② 経済学を学ぶ上で必要となる情報の理解力や処理能力
- ③ 他者と積極的にコミュニケーションを図り、協力しようとする姿勢

[経済学部] 一次審査 書類審査

書類	配点	内容
調査書	50	高等学校等の発行した調査書を厳封のまま同封してください。
志望理由書		志望理由について、本学所定の書式に記入してください。
活動報告書		以下の3点について本学所定の書式に具体的に記入してください。 1. 学術・芸術・スポーツ等の課外活動、生徒会活動、地域活動、ボランティア活動等。 その内容を示すものや説明のレポートなどを添付しても構わない。 2. 次の検定試験、資格試験の合格実績やスコアは、書類審査において重要な評価対象となります。 実用英語技能検定、TOEFL、TOEIC、IELTS、国際連合公用語英語検定試験、GTEC、TEAP、ケンブリッジ英語検定、実用数学技能検定、統計検定。 (なお、上記に該当しない検定・資格について記入することも可) 3. 自分の得意なこと、自分の長所等。 活動報告書の活動内容や検定・技能・資格を記入する欄の行数が足りない場合は、自分で線を引き、行数を増やして記入しても構いません。
課題レポート	50	発表されるテーマ(下記を参照)について、1200字程度のレポートを作成し、本学所定の書式に記入してください。

テーマの
発表方法

公開日時：6月3日(月)10:00

公開場所：本学入試情報サイト S-NET(<https://www.seikei.ac.jp/university/s-net/>)

【経済学部】 二次審査 ※ 集合時間・場所等は、一次審査合格者発表の際にお知らせします。

審査	内容
事前学習確認審査	<p>【試験時間 40分】 課題となる文献資料(和文・英文の文章、数値や図表など)を参照しつつ、それにもとづいた筆記試験を行います。文献資料を正確に理解し、分析に必要な基礎力を審査します。※1</p>
発表審査 ※2	<p>【審査時間 約20分】 課題となる文献資料を正確に理解・分析し、それをもとに自分自身の考え方を表現する力を対面による個人面接で審査します。審査は以下の3つの内容で構成されます。</p> <p>① 文献資料の内容と自身の考えをまとめた発表要旨(レジュメ)にもとづく10分間のプレゼンテーション。 ② 発表内容やレジュメに関する5分程度の質疑応答。 ③ 志望理由や活動歴などについての自己アピール(2分間)と質疑応答。</p>

※1 事前学習確認審査では、問題用紙と解答用紙の他に、課題の文献資料(全部または一部を抜粋したもの)も配布します。

2024年度二次審査の文献資料をもとに作成したサンプル問題は、本学入試情報サイト S-NET を参照してください。

※2 事前学習確認審査を未受験の場合には、発表審査を受験することはできません。また、発表審査に際して、事前にレジュメを作成することが求められます。作成の注意点などについては、16ページを参照してください。

二次審査 文献資料 発表方法	<p>公開日時：10月16日(水)10:00</p> <p>公開場所：本学入試情報サイト S-NET(https://www.seikei.ac.jp/university/s-net/)</p> <p>注意事項：発表は一次審査の合格者発表日より前になりますのでご注意ください。 レジュメの提出方法もあわせて発表します。</p>
----------------------	--

二次審査にあたっての注意

1. 事前学習確認審査について

- ① 受験生は試験開始30分前までに試験場に入り、着席してください。
- ② 試験開始後20分以降の試験場への入場は、特別の事情がない限り認められません。
- ③ 受験票は常に携帯してください。
- ④ 机の上に置くことができる物は、「受験票」「黒鉛筆(HB)」「シャープペンシル(HB 黒芯)」「プラスチック消しゴム」「鉛筆削り(電動式は不可)」「時計(計時機能だけのもの)」「眼鏡」「ティッシュペーパー(袋から取り出したもの)」「無地のハンカチ」「目薬」のみです。
- ⑤ 耳栓の使用は認められません。
- ⑥ 受験に際して、不正行為をしたとみなされた場合は、選考対象から除外されますので、このような行為はしないように注意してください。

2. プレゼンテーションについて

与えられた時間内に、指定された文献資料についてわかりやすくまとめて口頭で説明し、さらにその内容に関して自分自身の考えを述べていただきます。発表審査では、文献資料、レジュメおよびメモやノートを手元に置いて審査を受けることができます。ただし、デジタルデバイス(スマートフォン・パソコン等)を使用したり、文章・図表を印字したフリップボードを使用したりすることは認めません。プレゼンテーションで使用する言語は日本語です。

3. プレゼンテーションの準備

(1) 文献資料を熟読し、自分の考えをまとめる

課題として指定された文献資料をよく読み、わからないことや関連する情報などは、図書館やインターネットなどで調べる。文献資料の趣旨や要点を理解し、それに対して自分の考えを整理する。

(2) 発表の内容や構成を考える

文献の趣旨や要点、自分の考えを聞き手にわかりやすく伝えるには、何をどのような順番で、どのような時間配分で発表したらよいか考える。

(3) レジュメを作成する

次項の「4. レジュメについて」の注意に従ってレジュメを作成する。レジュメも評価の対象となるので、わかりやすいものになるよう心がける。

(4) リハーサルを行う

適切な時間配分になっているか、説明はわかりやすいか、レジュメは的確にまとまっているか、話す速さや声の大きさは適切か、などに注意して練習する。

4. レジュメについて

レジュメは、パソコン等を用いて、A4判1枚(片面のみ)に、発表内容をまとめて作成してください。特に以下の点に注意しながら、聴き手・読み手にとって文献資料の内容を理解しやすいものになるよう心がけてください。

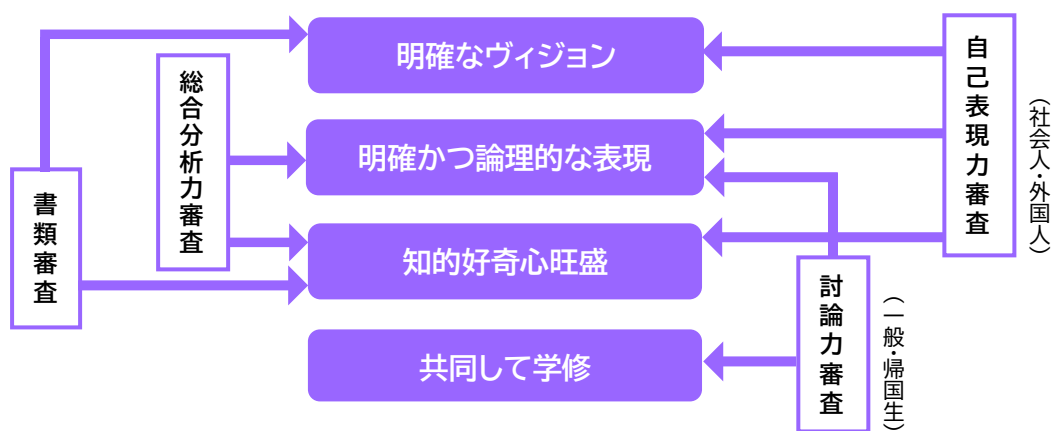
- ・ 文献資料の構成におおむね沿うように、見出しや各章や節の主張、根拠、そして結論などを短い文章表現(箇条書きや短文)で示してください。
- ・ レジュメを作成する際に、文献資料で省略した部分があれば、発表の際に口頭で省略した理由などを補足しながら説明してください。
- ・ 指定された文献資料の内容のほかに、必ず発表者自身のコメント(意見や疑問、参考情報など)を含めてください。その際、文献資料の要約と発表者自身のコメントは区別して書いてください。
- ・ 必要に応じて図表などをレジュメに載せてもかまいません。
- ・ 指定された文献資料以外も参考資料として用いてもかまいません。ただし、参考にした箇所・記述・図が、読み手にわかるように記してください。
- ・ レジュメの最後に出典や参考資料の情報(筆者、出版年、タイトル、出版社など)を書いてください。これらの情報を書くスペースがA4判1枚の片面に収まらない場合は、出典や参考資料の情報を明記するスペースとしてのみ用紙の裏面を使用してもかまいません。ただし、出典や参考資料の書誌情報以外(レジュメの続きや図など)が裏面に記されていた場合は、減点の対象となりえます。
- ・ カラー印刷、白黒印刷の指定はありません。

経営学部が求める学生像

経営学部の AO マルデス入試では、ゼミ(演習)において牽引的な役割を果たすとともに、何事にも積極的に取り組み、ゼミ全体を活性化させるような学生を求めています。以下の条件を満たす優れた人材が多数集まることを期待します。

ゼミを引っ張る学生には次のような資質が求められます。

- ① 自分の将来に関して、明確なビジョンを持っている、または自分の将来を真剣に見つめている。
- ② 自分の意見や考えを明確かつ論理的に表現できる(言葉で述べることおよび文章で表現することの両方を含みます)。
- ③ 知的好奇心が旺盛で、わからないこと、理解できないことを放置せずに、納得がいくまで自分で調べたり質問したりする。
- ④ 他人の意見を尊重し、共同して学修することに積極的に取り組める。



[経営学部] 一次審査 書類審査

書類	配点	内容
調査書	50	高等学校等の発行した調査書を厳封のまま同封してください。
志望理由書		あなたの将来の夢や将来就きたい職業等を踏まえて、成蹊大学経営学部の志望理由について、本学所定の書式に記入してください。
活動報告書		以下の3点について本学所定の書式に具体的に記入してください。 1. 学術・芸術・スポーツ等の課外活動、生徒会活動、地域活動、ボランティア活動等。 2. 次の検定試験、資格試験の合格実績やスコア。 実用英語技能検定、TOEFL、TOEIC、IELTS、国際連合公用語英語検定試験、GTEC、TEAP、日商ビジネス英語検定、全商英語検定、日本漢字能力検定、実用数学技能検定、IT パスポート試験、情報検定、歴史能力検定、日商簿記検定、その他の検定・資格試験等。 3. 自分の得意なこと、自分の長所等。 ※ 検定結果や資格、優れた成果を証明する資料(コピー可)を出願の際に同封してください。
課題レポート		本学ホームページで発表される課題テーマについて、1200字程度のレポートを作成し、本学所定の書式に記入してください。なお、テーマの発表方法の詳細については、19ページを参照してください。この課題テーマが、討論力審査(二次審査)の際のグループ討論のテーマになります。しっかりと自分の意見をまとめておきましょう。

【経営学部】 二次審査 ※ 集合時間・場所等は、一次審査合格者発表の際にお知らせします。

一般・帰国生

審査	内容
総合分析力審査	<p>【試験時間 60分】</p> <p>配布された資料(和文・英文の文章、数値や図表など)を基に筆記試験を行います。 資料を正確に分析・理解し、それを基に表現する力を審査します。</p>
討論力審査	<p>課題レポートのテーマについて、少人数で討論してもらいます。 明確かつ論理的に表現する力を審査します。</p> <p>※ 討論力審査には、メモや資料などを持ち込むことができます。</p>

社会人・外国人

審査	内容
総合分析力審査	<p>【試験時間 60分】</p> <p>配布された資料(和文・英文の文章、数値や図表など)を基に筆記試験を行います。 資料を正確に分析・理解し、それを基に表現する力を審査します。</p>
自己表現力審査	<p>面接方式で、志望理由書、活動報告書および活動歴に関する資料など、提出された書類の内容を中心に面接を行います。勉強に対する意欲や適性を判断します。</p>

受験にあたっての注意

総合分析力審査

- ① 受験生は試験開始30分前までに試験場に入り、着席してください。
- ② 試験開始後20分以降の試験場への入場は、特別の事情がない限り認められません。
- ③ 受験票は常に携帯してください。
- ④ 机の上に置くことができる物は、「受験票」「黒鉛筆(HB)」「シャープペンシル(HB 黒芯)」「プラスチック消しゴム」「鉛筆削り(電動式は不可)」「時計(計時機能だけのもの)」「眼鏡」「ティッシュペーパー(袋から取り出したもの)」「無地のハンカチ」「目薬」のみです。
- ⑤ 耳栓の使用は認められません。
- ⑥ 受験に際して、不正行為をしたとみなされた場合は、選考対象から除外されますので、このような行為はしないように注意してください。

討論力審査、自己表現力審査

審査の詳細・注意事項は、一次審査合格者発表の際に郵送でお知らせします。当日は、係員の指示をよく聞いて、それに従ってください。

一次審査の課題レポートと二次審査の討論力審査の課題テーマについて

経営学部の AO マルデス入試における一次審査の課題レポートと二次審査の討論力審査の課題テーマとその趣旨については、本学ホームページで公開します。

公開日時：6月3日(月)10:00

公開場所：本学入試情報サイト S-NET(<https://www.seikei.ac.jp/university/s-net/>)

課題レポート作成ポイント

課題レポートでは、与えられたテーマについて詳しく、かつ正確に記述して、自分がそのテーマについて深く理解していることをアピールすることが必要です。しかし、単に自分の意見を述べるだけではなく、その意見の根拠となる客観的な事実やデータなどを明確に示すことが望まれます。また、文章の流れや構成にも配慮して、論理的にレポートを展開することも重要なポイントとなります。

討論のポイント

討論力審査では、あらかじめ与えられたテーマに従ってグループで討論してもらい、その過程を審査します。討論では、自分の意見を明確に述べることも大切ですが、それ以上に、相手の意見を理解して、自分の意見との類似点や相違点を把握し、可能であれば、相手と自分の意見を統合できる案を新たに提案することが大切です。グループの中で自分の意見を何も言わないことは論外ですが、自分の意見をただ主張し続けることだけでは高い評価は得られません。グループ内での討論の流れを踏まえて、最終的にはグループの誰もが納得するような結論を導くことができる資質や、そうした強い意識があるかを重視しています。

法学部が求める学生像

「入学してから卒業するまで、どの学年でもゼミ(演習)が取れる」

法学部が最も誇りとする教育面の特色は、充実した少人数教育の環境を提供していることです。

しかし、環境が充実していればそれだけで充分、とはいえません。

ゼミの成否は、そこに参加する学生がどれだけ積極的な態度を示すかに大きくかかっているからです。

ゼミに旺盛な意欲で参加し、ゼミを引っ張る学生——

法学部が AO マルデス入試で求めているのはそうした学生です。

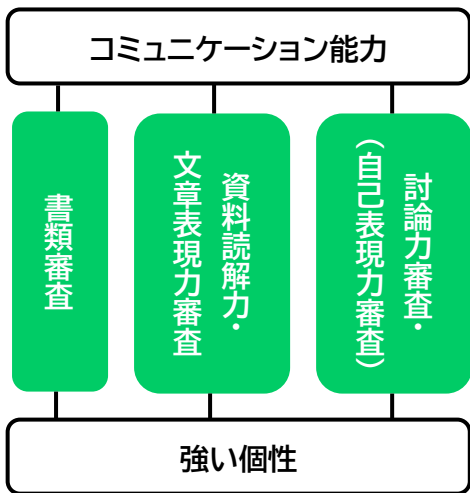
ゼミを引っ張る
学生には
次のような
資質が
求められます。

① コミュニケーション能力に富んでいること

社会のできごと全般に幅広い関心を持ち、自分の意見を論理立てて他者に伝え、他者の意見にも誠実に耳を傾ける力、つまり他者と関心を共有しつつ、自分の意見を明確にしていく能力に富んでいることです。単に調整能力に富み、ゼミのまとめ役になる学生を望んでいるわけではありません。

② 他者とのかかわりを深いところから支える「強い個性」があること

他者に伝えるに足る個性、他者が学ぶに足る個性をもった者どうしが集まってこそ、コミュニケーションが、また、ゼミが豊かに花開くから、という理由によるものです。そうなったとき、ゼミはまるで場面に応じて誰もが次々に主役を演じるドラマの舞台のようになるはずです。



これらの資質は、各種の審査を通じて多角的に評価されます。具体的には、書類審査、資料読解力・文章表現力審査、討論力審査(社会人特別受験・外国人特別受験の場合は自己表現力審査)の3種類の審査によって、「コミュニケーション能力」とそれを支える「強い個性」を評価します。法学部 AO マルデス入試は、「強い個性」とそれに裏打ちされた「コミュニケーション能力」に富む学生を期待します。

[法学部] 一次審査

審査	内容
書類審査	調査書、志望理由書、活動報告書、学修計画レポート、語学試験の合格・成績、その他すべての提出書類に基づいて総合的に審査します。自由提出された資料も審査の対象とします。 志望理由書は、内容が明確で具体的なものほど高い評価が得られます。

法学部

[法学部] 二次審査 ※ 集合時間・場所等は、一次審査合格者発表の際にお知らせします。

一般・帰国生

審査	配点	内容
資料読解力・ 文章表現力審査	50	[10:00-11:30 試験時間90分] 文章を正確に読み取り理解する力と、自分の考えを魅力的な文章にまとめる思考力と文章表現力が問われます。 ※ 下書き用の用紙も配付しますので、まずは書くべき内容と構成について、じっくりと構想を練ってから書き始めてください。
討論力審査	50	発表されるテーマ(下記を参照)について、5～7名程度でグループ討論を行い、各受験者の参加姿勢や発言内容に基づいて審査します。審査は約60分間です。

テーマの
発表方法

公開日時：6月3日(月)10:00

公開場所：本学入試情報サイト S-NET(<https://www.seikei.ac.jp/university/s-net/>)

※ 可否判定は、書類審査、資料読解力・文章表現力審査、および討論力審査を総合的に組み合わせて行います。

社会人・外国人

審査	配点	内容
資料読解力・ 文章表現力審査	50	[10:00-11:30 試験時間90分] 文章を正確に読み取り理解する力と、自分の考えを魅力的な文章にまとめる思考力と文章表現力が問われます。 ※ 下書き用の用紙も配付しますので、まずは書くべき内容と構成について、じっくりと構想を練ってから書き始めてください。
自己表現力審査	50	提出された書類の内容に基づき、個人面接形式で審査します。審査は約15分間です。 最初の3分間で自己アピールを行ってください。

二次審査にあたっての注意

資料読解力・文章表現力審査

- ① 受験生は試験開始30分前までに試験場に入り、着席してください。
- ② 試験開始後20分以降の試験場への入場は、特別の事情がない限り認められません。
- ③ 受験票は常に携帯してください。
- ④ 机の上に置くことができる物は、「受験票」「黒鉛筆(HB)」「シャープペンシル(HB 黒芯)」「プラスチック消しゴム」「鉛筆削り(電動式は不可)」「時計(計時機能だけのもの)」「眼鏡」「ティッシュペーパー(袋から取り出したもの)」「無地のハンカチ」「目薬」のみです。
- ⑤ 耳栓の使用は認められません。
- ⑥ 受験に際して、不正行為をしたとみなされた場合は、選考対象から除外されますので、このような行為はしないように注意してください。

討論力審査

- ① 準備したメモや資料は会場に持ち込んで構いません。
- ② 資料を配布する場合は、審査員の分も含めて12部用意してください。
- ③ 電子辞書、PC、携帯電話等の電子機器も会場に持ち込んで構いません。ただし、電源、機器類、通信環境等はこちらでは用意できません。
- ④ 審査中、携帯電話等でウェブサイトを開覧しても構いません。ただし、通話、メール、ソーシャルメディア等で他者へ質問したり、試験会場外の人間と連絡をとる手段として機器を使用したりすることは禁止とします。

二次審査／資料読解力・文章表現力審査 審査のポイント

【問題 1】

※ 出題形式は変更される可能性がありますので、ご注意ください。

例えば、以下のような力を試す問題が、よく出題されています。

- 語を適切に使用する力
- 漢字を正しく使う力
- 文章の趣旨を正確に読み解く力
- 文章に固有の文脈を正確に理解する力
- 文脈に従って正確に推理する力
- 論点を正確に見極める力
- 文章の脈絡を理解して、論点を再確認する力
- 微妙な論旨を的確に読み解く力
- 文章の全体像を把握する力

【問題 2】

絵を見て自分の考えを述べる問題が、よく出題されています。この絵をどう見るか、出発点から独創的なセンスが試されています。そもそも、なぜ自分が理解したように見えるのか。もしも理解したとおりでないとする、この絵はいったい何であり、見方によって他にどのようなものに変貌しそうか。さまざまな見方や解釈が可能で、想像力はどこまでも豊かに発揮できます。AO マルテス入試では、毎回ものの見方が魅力的で独創的な答案、個性豊かな好奇心溢れる答案があり、期待どおりの受験生に出会うことができます。この種の魅力や個性の輝きが審査の最重要ポイントです。

二次審査／討論力審査 グループ討論に備えて

討論力審査は、各受験者の参加姿勢や発言内容に基づいて審査されますので、そのための十分な準備が必要です。討論力審査のテーマは、事前にウェブで公開されています。テーマを早めに確認するようにしましょう。討論力審査のテーマは、毎年異なります。複数の制度の優劣を比較し、最も望ましい制度を提案する課題が課されることがあります。また、表や統計データが示され、その意味を読みとる課題が課されることもあります。問題をしっかり読んで、何が求められているのかを正確に読みとるようにしましょう。また、学者の主張や他国の状況を調べることが求められることもあります。図書館の書物だけでなく、インターネットなども活用し、さまざまな角度から幅広く調査を行いましょう。ただし、ネット情報は玉石混淆ですので、安易な過信は禁物です。さらに、最後にグループとしての結論をまとめるよう求められることがあります。自分の意見だけでなく、自分とは異なる意見としてどのようなものがあるのかを考えておかなければなりません。また、それぞれの意見にどのような理由があるのか、それらはどのように異なるのかを、確認しておきましょう。どんなに入念に準備しても自分の提案とは違う方向に議論が進んでしまうこともありえます。そのような場合にも、柔軟に議論を組み立て、積極的に議論に参加して行くことができるよう、日頃から討論に慣れておくことも必要です。

審査の ポイント

- 事実を的確に分析し、問題点を整理できているか。
- 討論に貢献できているか。
- 他人の意見をきちんと聞いているか。また、それを理解できているか。
- 自分の意見を論理的に展開し、他人に正確に伝えることができているか。

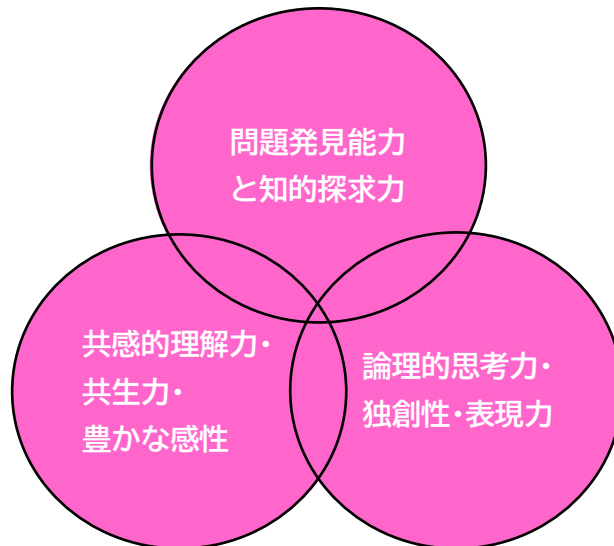
文学部が求める学生像

桃李不言 下自成蹊 – 桃李ものいはざれども、下おのづから蹊を成す

成蹊学園の名前の由来となった、司馬遷著『史記』に登場する成句です。魅力のある人の周りには自然と人が集まり、道ができるものです。それは授業や部活動・サークルの牽引力となるような人かもしれませんし、静かなたたずまいの人であっても、独創的で豊かな感性で周囲に刺激を与える人かもしれません。文学部 AO マルデス入試では、成蹊の理念を体現するようなそうした人を求めています。具体的には、以下に述べる能力または潜在性をもった人です。

文学部 AO マルデス入試では、以下の能力または潜在性が求められます。

- ① 人間、文化、社会の本質と内在する問題を発見し、それを探求する力。
- ② 物事を論理的に考え、独創性をもった的確に表現する力。
- ③ 自分以外のものに共感の目を向けて理解する力と異なる文化を生きる他者との共生力、それを支える豊かな感性。



【文学部】一次審査 書類審査

書類	配点	内容
志望理由書 活動報告書 調査書等	40	提出された書類(志望理由書、活動報告書、調査書等)に基づいて審査をします。
志望学科に関する レポート	60	提出された書類(① 志望学科が扱う研究領域のうちどのようなテーマに興味を持ったか(400字程度)、② そのテーマについて自分で調べたこと(600字程度))に基づいて審査をします。レポートには参考にした文献(字数には含めない)を明記すること。

[文学部] 二次審査 ※ 集合時間・場所等は、一次審査合格者発表の際にお知らせします。

審査	内容
発表・質疑応答審査	「プレゼンテーション+対話」型の個人面接を行います。所要時間は約30分とし、学科ごとに指定された課題に基づく約10分間のプレゼンテーション(発表)、発表内容や課題に関する5～10分程度の質疑応答、志望理由などについての5～10分程度の質疑応答を行います。二次審査時にA4判1枚分の発表内容要旨(レジュメ)を提出してください。なお、プレゼンテーションの課題は、10月31日(木)10:00に本学入試情報サイト S-NET でお知らせします。一次審査の合格者発表日より前になりますのでご注意ください。 本学入試情報サイト S-NET (https://www.seikei.ac.jp/university/s-net/)

一次審査(書類審査)について

書類審査は、「志望理由書、活動報告書(共に本学所定)、調査書等」と「志望学科に関するレポート(本学所定)」の二つからなっています。志望理由書、活動報告書は、内容が明確で具体的なものほど高い評価が得られます。調査書や成績証明書についても審査の対象にします。志望学科に関するレポートでは、志望する学科が扱う研究領域の中で特に興味を持ったテーマについて書くとともに、そのテーマについて自分で調べたことをまとめます。レポートの末尾には、作成の際に参考にした書籍等を明記してください。志望する学科のカリキュラムを十分に理解しているか、その学科でどのようなことを学びたいか、興味を持ったテーマについて調べ、まとめる力を備えているかを中心に審査をします。なお、参考文献の記載のないレポートは評価が低くなりますので注意してください。

「志望する学科が扱う研究領域」について

文学部では文化現象の総合的理解およびその継承を目的として、文学と人間の多様な文化、そして社会を研究対象としています。各学科の研究領域は、英語英米文学科は英米文学・文化および英語学、日本文学科は古典から現代までの日本文学および日本語学、国際文化学科は国内外を対象とした歴史・地域文化研究、文化人類学および国際関係研究、現代社会学科は社会学およびメディア研究となります。

二次審査(発表・質疑応答審査)について

1. 二次審査の内容

二次審査は約30分間の面接試験(発表・質疑応答審査)です。審査は次の三つの内容で構成されます。

- 1) 学科ごとに指定された課題に基づく約10分間のプレゼンテーション(発表)。
- 2) 発表内容や課題に関する5～10分程度の質疑応答。
- 3) 志望理由などについての5～10分程度の質疑応答。

なお、英語英米文学科志願者は、志望理由などについて、日本語に加えて、英語で質疑応答することも求められます。

2. プレゼンテーションについて

プレゼンテーションとは、特定の課題について調べたことや考えたことを、必要に応じて資料などを用いながら、口頭で説明することです。プレゼンテーションで使用する言語は、英語英米文学科では日本語と英語のどちらでもかまいません。ただし、使用言語が英語であるということだけで評価が高くなることはありません。日本文学科、国際文化学科、現代社会学科の受験者は、日本語を使用してください。なお、プレゼンテーションの課題は学科ごとに指定されています。自分の志望学科の課題であることを確認してください。

3. プレゼンテーションの準備

(1) 中心テーマを決める

課題の内容や主旨をよく理解し、発表の中心テーマ(焦点)を絞り込む。プレゼンテーションの時間は限られているので、内容が聞き手にはっきり伝わるように、発表のテーマを明確にする。(学科によっては、課題が必ずしも「中心テーマを決める」という取り組み方に合致しない場合もありますが、その場合は学科の指示に従ってください。)

(2) 発表の内容を考える

テーマについて図書館などで調べ、発表の内容を決める。さらに、調べたことに対する自分の考えを整理する。

(3) 発表の構成を考える

何をどのような順番で、どのような時間配分で発表するか、という点に留意して、構成を考える。

(4) レジューメを作成する

次項の「4. レジューメについて」の注意に従ってレジューメ(発表内容を文章にまとめたもの)を作成する。

レジューメも評価の対象となるので、わかりやすいものになるよう心がける。

(5) リハーサルをおこなう

適切な時間配分になっているか、説明はわかりやすいか、レジューメは的確にまとまっているか、話す速さや声の大きさは適切か、などに注意して練習する。

4. レジューメについて

(1) 作成部数

二次審査には、発表用のレジューメをかならず4部持参してください。4部の内、1部は発表時に使用する自分用とし、残りの3部を面接官に渡してください。

(2) 作成要領

レジューメは、パソコン等を用いて、A4判1枚(片面のみ)に、発表内容を文章にまとめ、作成してください。内容のポイントを箇条書きにしたり、必要に応じて図表などを載せたりするなど、自由に編集・作成してください。資料の出典や参考文献は明確にする必要があります。なお、出典や参考文献が多いため表面に書ききれない場合は、レジューメの裏面を用いてもかまいません。ただし、裏面を使う場合もA4版1枚に収め、2枚にまたがることのないようにしてください。

(3) その他の注意

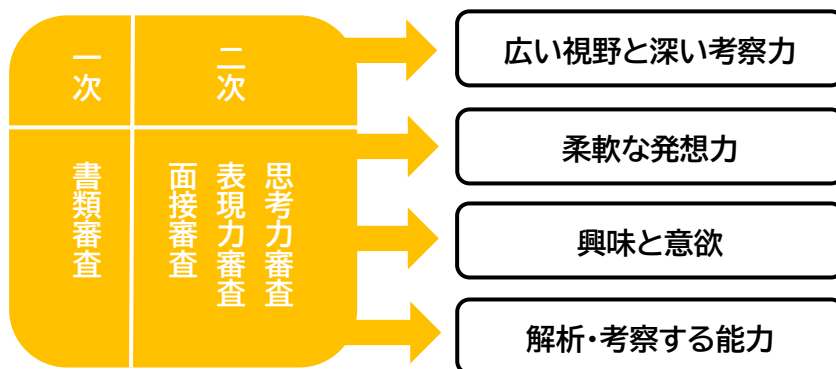
レジューメの他に、模造紙等にした補助資料を持参してもかまいません。ただし、パソコン等の外部機器の持ち込みおよび使用はできません。したがって、パワーポイント等のプレゼンテーション用ツールを使うこともできません。二次審査の時間は限られていますので、レジューメを充実させることを優先させてください。

理工学部が求める学生像

理工学部では自ら問題を発掘して解決できる能力をそなえた人材の育成を目指しています。AO マルデス入試では、この理想を追求するためにさまざまな試験方法を用意して、学力のみを問うペーパー試験でははかりきれない下記のような資質をそなえた学生を求めています。学校推薦型選抜よりも自由に、一般選抜より個性的に、自分の才能を発揮できる AO マルデス入試にチャレンジしてみませんか。

理工学部では
次の資質を
そなえた学生を
求めています。

- ① 自然現象や普段の生活で使われている技術に対する**広い視野**と**深い考察力**があること。
- ② その視野と考察力を基礎とした**柔軟な発想力**をもつこと。
- ③ 数学や理科あるいは科学技術に対する**興味**と、その修得に対する強い**意欲**をもつこと。
- ④ 実験結果を論理的に**解析・考察する能力**があること。



[理工学部] 一次審査

審査	内容
書類審査	<p>志望理由書、調査書、活動報告書、英語検定試験等の証明書、科学に関係するコンクール等への参加・入賞を示す資料、その他すべての提出書類に基づいて、総合的に審査します。</p> <p>※ 志望理由書では、志望理由の妥当性や意欲、理工学への関心の明確性、文章表現を審査します。</p> <p>その他の書類では、理数系科目の履修状況や、勉学および各活動の達成度を評価し、本学部での学びに対する準備状況ならびに資質について審査します。</p>

[理工学部] 二次審査 ※集合時間・場所等は、一次審査合格者発表の際にお知らせします。

一般

審査	配点	内容
思考力審査	50	<p><午前> 10:00~11:30 [90分]</p> <p>順序立てて物事を考える力を見るために、数学的な思考力に関する演習に取り組みます。</p> <p>① 数学的思考力を問う問題が出題されます。</p> <p>② 内容は基本的なものですが、途中経過を丹念に詰めていく必要があります。鉛筆と紙を使って問題に取り組みます。</p> <p>③ 途中経過も採点対象ですので、解答用紙には答を導くまでに試行錯誤した内容も含めてすべて書き込んでください。</p>
表現力審査	20	<p><午前> 11:50~12:20 [30分]</p> <p>当日、出題される科学技術に関するテーマについて、記述式の試験を行います。出題される科学技術に関するテーマについて、自分の考えを文章にて表現できるかを評価します。</p>
面接審査	30	<p><午後> 13:20~ [一人30分程度]</p> <p>一次審査に提出された志望理由書、活動報告書、および表現力審査の内容を中心に、理工学部にて学ぶ意欲や志望動機、理工学に関する知識について口頭試問します。</p>

帰国生・外国人

審査	内容
質疑応答審査	<p>30~60分程度の個人面接です。提出された志望理由書に関する質問や口頭試問を中心に質疑応答をします。口頭試問では高校までの数学や理科において基礎的な事柄を理解しているかどうかを確認します。</p> <p>※ 志望理由書、活動報告書等は、面接時の参考資料として利用します。</p>

社会人

審査	内容
発表・質疑応答審査	<p>10分程度の口頭発表と、その内容や提出された書類についての質疑応答を行い、合計60分以内の審査をします。口頭試問では高校までの数学や理科において基礎的な事柄を理解しているかどうかを確認します。</p> <p>※ 発表の課題は「実社会における経験と大学で学びたいこと」。社会人としての経験から得たこと、そして本学でどのようなことを学びたいかについて、口頭で約10分間の発表をしてもらいます。そのあと、発表の内容および志望理由等についての質疑応答を行います。発表にあたっては、レジュメ(発表内容をまとめたものでA4判用紙1枚)を提出していただけます。レジュメは手書きでもPC出力でも結構です。書式は自由とします。発表時にコピー3部を持参し、審査員に提出してください。また、PCおよびプロジェクター等の発表機器が使用できます。発表機器を使用される場合は、利用可能な機器とメディアについて審査日の1週間前までに本学アドミッションセンターまでお問い合わせください。</p>

表現力審査のポイント

以下の点が評価されます。

- ① 出題される科学技術に関するテーマについての知識があるか。
- ② 出題される科学技術に関するテーマについての自分の考えを明確に文章で示しているか。
- ③ 文章としての水準、論理性および構成は適切か。

日頃から希望する専攻の分野に関する科学技術に対する興味をもち、新聞やニュースなどに目を通しておくことが重要です。また、自分の考えを第三者が読んでわかるように文章で記述する練習をしておいてください。

面接審査のポイント

以下の点が評価されます。

- ① 理工学に関連してこれまで行ってきたことについて、アピールできる点があるか。
- ② 学問に対する自らの興味・意欲・資質を適切に主張できるか。
- ③ 表現力審査において記述した内容についての質問に、適切に答えることができるか。

希望専攻の分野に関する科学技術への興味や学習意欲をどれだけ強くもっているか、そして論理的思考力をどれだけ発揮できるかを評価します。提出された志望理由書・活動報告書等も参考にして、広い視野と発想力をどれだけ養ってきているかも審査します。口頭試問では、思考力審査、表現力審査の内容や、高校で学んだ数学・理科の理解度が問われることもあります。ただ単に知識を問うだけでなくコミュニケーション能力も重視します。評価方法は減点法ではありません。口頭試問を通じて理工学を志すその人の特長を高く評価し加点していきます。

入学準備プログラム

AO マルデス入試では、入試を高校と大学をむすぶ教育のプロセスととらえ、情報提供から入学準備プログラム終了までを入試と考えています。特に入学準備プログラムは、早期に進路を決定した受験生に十分な教育サービスを提供する上でも重要であり、興味のあることや得意分野をさらに伸ばせるよう設計しています。自分の夢に向かって、好きなことに思いきり取り組んでください。

全学部共通課題

- ① TOEIC テスト対策課題 … 指定された TOEIC の参考書や問題集を学習し、課題を提出する。

経済学部

- ① 課題図書の内容要約と感想 … 指定された課題図書リストから2冊を読んで、要約等を作成する。
- ② 経済学エッセイに基づく考察 … 指定されたエッセイを読んで、日常生活を経済学の視点から考察する。
- ③ 数学問題演習(経済数理学科対象) … 高校で学習する数学全般についての演習問題を解き、添削指導を受ける。
- ④ 白書に関するレポート(現代経済学科対象) … 指定された白書を読み、レポートを作成する。

経営学部

- ① 課題図書の内容要約と感想 … 指定された課題図書リストから2冊を読んで、要約等を作成する。
- ② 経営学・会計学エッセイに基づく考察 … 指定されたエッセイを2つ読んで、日常生活を経営学・会計学の視点から考察する。

法学部

- ① 問題集を活用した問題演習 … 指定された問題集(3冊)を最後まで解き、自己採点して提出する。

文学部

- ① Graded Readers(英語英米文学科・国際文化学科・現代社会学科対象) … やさしい英語で書かれた本を読んだうえで、課題(設問への解答や感想等)を提出する。
- ② 課題図書の内容要約と感想(日本文学科・国際文化学科・現代社会学科対象) … 指定された課題図書の中から選択して、感想やコメント等をまとめる。

理工学部

- ① TOEIC テスト対策課題 … 指定された TOEIC の参考書や問題集を学習し、課題を提出する。
- ② 数学問題演習 … 高校で学習する数学全般についての演習問題を解き、添削指導を受ける。
- ③ 理科問題演習 … 物理、化学、生物のうち2科目を選択して、高校で学習する内容についての演習問題を解き、添削指導を受ける。

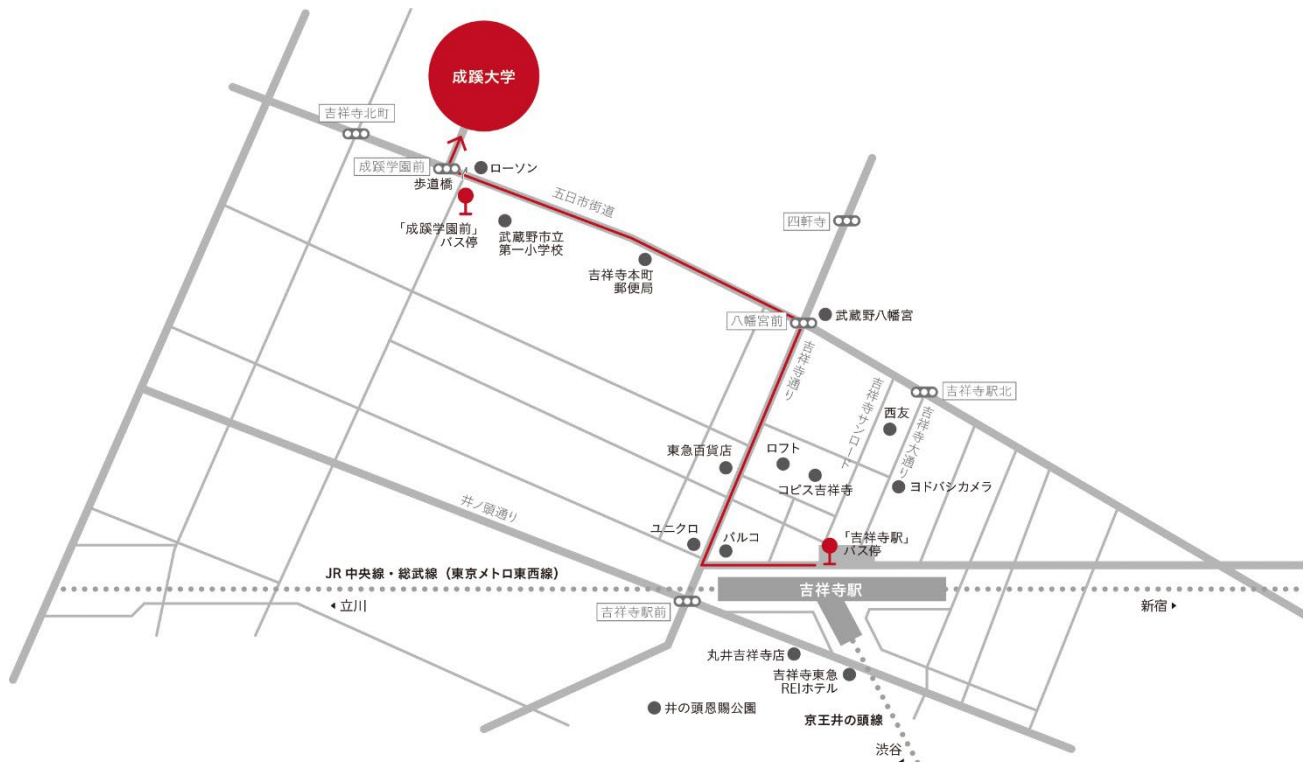
上記は2024年度の内容です。2025年度 AO マルデス入試の合格者に向けた内容は、入学手続完了後(12月中旬)に正式に通知します。

入試結果

2024年度							2023年度		2022年度	
学部	区分	学科	志願者数 (一次審査 受験者数)	一次審査 合格者数	二次審査 受験者数	二次審査 合格者数	志願者	合格者	志願者	合格者
経済学部	一般	経済数理	10	8	8	4	17	5	16	4
		現代経済	29	21	17	8	27	8	45	8
	帰国生	経済数理	0	0	0	0	0	0	0	0
		現代経済	0	0	0	0	0	0	0	0
	社会人	経済数理	0	0	0	0	0	0	0	0
		現代経済	0	0	0	0	0	0	0	0
	外国人	経済数理	0	0	0	0	0	0	0	0
		現代経済	0	0	0	0	0	0	0	0
学科計	経済数理	10	8	8	4	17	5	16	4	
	現代経済	29	21	17	8	27	8	45	8	
経営学部	一般	総合経営	87	55	49	22	90	18	80	17
	帰国生		3	3	3	1	5	2	4	1
	社会人		0	0	0	0	0	0	1	1
	外国人		6	5	4	1	0	0	1	1
	学科計		96	63	56	24	95	20	86	20
法学部	一般	法律	29	28	19	13	24	9	27	6
		政治	30	30	29	15	20	8	17	8
	帰国生	法律	1	1	0	0	1	0	2	0
		政治	0	0	0	0	0	0	0	0
	社会人	法律	0	0	0	0	1	1	0	0
		政治	0	0	0	0	1	1	1	0
	外国人	法律	1	1	1	0	1	0	0	0
		政治	0	0	0	0	0	0	0	0
学科計	法律	31	30	20	13	27	10	29	6	
	政治	30	30	29	15	21	9	18	8	
文学部	一般	英語英米文	11	8	7	7	7	7	12	5
		日本文	12	7	7	5	7	5	8	3
		国際文化	8	7	7	5	11	2	8	2
		現代社会	9	7	6	3	7	3	18	2
	帰国生	英語英米文	0	0	0	0	2	0	0	0
		日本文	1	1	1	0	0	0	0	0
		国際文化	0	0	0	0	2	1	1	0
		現代社会	3	0	0	0	0	0	1	1
	社会人	英語英米文	0	0	0	0	0	0	0	0
		日本文	0	0	0	0	0	0	1	0
		国際文化	0	0	0	0	1	1	0	0
		現代社会	0	0	0	0	1	0	0	0
	外国人	英語英米文	0	0	0	0	0	0	0	0
		日本文	1	0	0	0	0	0	1	0
		国際文化	0	0	0	0	1	0	1	0
		現代社会	2	0	0	0	0	0	2	0
学科計	英語英米文	11	8	7	7	9	7	12	5	
	日本文	14	8	8	5	7	5	10	3	
	国際文化	8	7	7	5	15	4	10	2	
	現代社会	14	7	6	3	8	3	21	3	
理工学部	一般	理工	35	19	16	9	43	11	34	10
	帰国生		2	1	1	1	2	1	0	0
	社会人		2	2	2	2	0	0	0	0
	外国人		0	0	0	0	0	0	1	0
	学科計		39	22	19	12	45	12	35	10

※ 帰国生・社会人・外国人の定員は一般受験の定員に含まれます。

※ 上記の入試結果には、現地選抜型外国人特別入試の結果は含まれません。



個人情報の取扱いについて

成蹊大学入学試験において、本学が取得した個人情報は、以下の目的に利用します。

- ① 入学試験実施
- ② 入学準備プログラム実施
- ③ 学籍の登録および管理
- ④ 個人を特定できない形での統計的資料の作成

出願書類については「個人情報及び特定個人情報の保護に関する基本方針」に基づき適切に管理します。また、一部業務を第三者に委託することがありますが、その際も上記目的の範囲内で利用します。詳細につきましては、本学ホームページ (<https://www.seikei.ac.jp/university/>) の個人情報保護に関する取り組みを確認してください。

成蹊大学アドミッションセンター

〒180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町 3-3-1

TEL : 0422-37-3533 FAX : 0422-37-3864

平日 9:00 - 17:00 土曜日 9:00 - 12:00 (学園休業日を除く)

Email : nyushi@jim.seikei.ac.jp